

フォレストツーリズム 推進事業

自治体情報

人 □ 26,043 人

標準財政規模 6,379,247 千円

担当課 和歌山県 御坊市 産業建設部商工振興課

電話 0738-23-5531

ホームページ <http://www.city.gobo.wakayama.jp/index.htm>

事業期間 平成 20 年度から平成 20 年度まで

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

地球温暖化につながる原因要素に森林破壊を含む環境破壊があげられるが、里山再生計画をはじめ森林力を復活させ、生態系を甦らせることを目的とした和歌山県の「紀の国森づくり基金活用事業」の認可を受け、フォレスト（森林）をキーワードに地元の日高川と森林資源の豊かさ、リサイクル可能で環境にも優しい木材の特性などを親子等が楽しく「体験」「学習」することにより森林の重要性を広く普及啓発し、森林を守り育て次の世代へ引き継いでいく意識の高揚を図るための体験学習を開催した。



2 事業内容（目的・目標・方策）

前記の目的に向け、「森とあそぶ、まなぶ」をモチーフに御坊地域の日高川や熊野古道等 4 つのフィールドを用意し 4 種類の体験学習を実施。

- (1) 地域の森林資源と水環境の保全の必要性を体験学習することを目的とした日高川でのカヌー下りを実施。インストラクターは地元倶楽部員に依頼、参加者全ての安全を確保することを優先に最大限増員配備し万全を期す体制を整え実施に及んだ。
- (2) 環境に優しい木質エネルギーを学習する木質バイオマス燃焼実験の観賞及び紀州檜材を使った木工教室を日高港新エネルギーパークで実施。講師を地元の関西電力株式会社や次世代エネルギー研究所に依頼し、木工教室では板の長さが 8 種類からなる木製の音板を組み立て加工する「シロフォン」を製作する。
- (3) 自然林を体感しながら地元語り部と歩く熊野古道ウォーキングを実施。
- (4) 間伐材を材料としたプランターカバーの作成体験を自然環境と直接触れ合うことができる野外で実施。講師はプランターカバーキッド製作会社に依頼。完成品の一部を公共性のある屋外に設置し「紀州材」の PR に努める。

3 施策の開始前に想定した事業効果

森を含む自然環境の重要性を認識回帰することが、観光資源の新規発掘や地域資源の付加価値増につながり、地域の森林資源と観光資源が共存発展できうる土壌整備が可能になると考えた。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

自然と向き合う体験学習のため、天候等環境の変化に実施日等が大きく左右されることがあった。

例えば、カヌー下り体験については、夏場の降水量が少なかったため、川の水量不足が原因で実施できる日が限定されることもあり、調整に困難をきたした。

実施予定回数は上記の理由により大幅に減少したが、屋外イベントや自然を相手にしたイベントには不可避なものであると考えている。

熊野古道ウォーキングについては参加希望者が当初予定数を大幅に上回ったが、語り部数を増員する等して安全面を確保し実施に及んだ。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

参加者実績やイベント終了後の参加者の反応から「森」をキーワードにした観光イベントは想像以上にニーズがあるということがわかった。

今後は、財源確保が課題となるが、このイベントを分析・参考にしながら、「森」に限らず自然と融合できる観光商品開発を観光ニーズに沿って検討模索していきたいと思っている。



予算関連データ 御坊市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
1,263千円		0千円	1,219千円	0千円	0千円	44千円
①～④の名称・所管等	名称		紀の国森づくり基金活用事業補助金			/
	所管		和歌山県 農林水産部 林業振興課			
	金額		1,219千円			
	補助率		10/10			